

中部支部設備女子会

第8回事業

『建築設備の“ドーナツトーク”セミナー in 名古屋』

報告書

日時： 2022年10月14日(金) 14:30~17:00

《受付》 (一社) 建築設備技術者協会中部支部設備女子会運営委員 鈴木法子【日比谷総合設備(株)】

参加者に、体調チェック、検温、消毒、マスクの着用の協力お願い

会場： 栄ガスビル 5F クイーンルーム (名古屋市中区栄三丁目15番33号)

主催： (一社) 建築設備技術者協会中部支部設備女子会

後援： ・(公社) 空気調和・衛生工学会中部支部 ・(一社) 日本空調衛生工事業協会東海支部

(順不同) ・(一社) 日本電設工業協会東海支部 ・(一社) 日本設備設計事務所協会連合会東海ブロック協議会

・(一社) 電気設備学会中部支部 ・(一社) 日本建築学会東海支部

協賛： 三菱電機住環境システムズ株式会社

新聞社取材： 建通新聞社、日刊建設工業新聞社、日刊建設通信新聞社

参加人数： 17名 (女性13名、男性4名)

《司会》 (一社) 建築設備技術者協会中部支部設備女子会運営委員 大山智子【大成建設(株)】

《写真》 (一社) 建築設備技術者協会中部支部設備女子会運営委員 中野由美【(株)大林組】

1. 開会《挨拶》 (一社) 建築設備技術者協会中部支部理事 中部支部設備女子会担当マネージャー 木村員久【(株)大林組】

2. 自分のコミュニケーションタイプを知ろう！

《進行》 (一社) 建築設備技術者協会中部支部設備女子会運営委員 藤原永知子【藤原工業(株)】

・タイプは4つ。めざそうアサーティブ

・♡ちょっとチェックしてみましょう♡

・アイスブレイクアクティビティ ゲームを通じて自分の「伝え方のくせ」を知ろう

3. 建築設備に関わる仲間と輪になってドーナツトークをしてみよう！

・アサーションを意識して、話をしてみよう！話を聞いてみよう！

4. 建築設備士資格について説明、(一社) 建築設備技術者協会の活動紹介

《説明》 (一社) 建築設備技術者協会中部支部理事 事業委員長 服部敦【(株)朋和設備工業(株)】

5. 閉会《代理挨拶》 (一社) 建築設備技術者協会中部支部理事 中部支部設備女子会担当マネージャー 木村員久【(株)大林組】

[当日所用により急遽欠席： (一社) 建築設備技術者協会中部支部理事 中部支部設備女子会担当マネージャー 岡部裕之【大成建設(株)】]

《参加者所属企業名・大学名》（順不同）

新菱冷熱工業(株)、大冷工業(株)、(株)大林組、ゼネラルヒートポンプ工業(株)、東北文化学園大学、ミサワ環境技術(株)、
朋和設備工業(株)、日比谷総合設備(株)、大成建設(株)、藤原工業(株) 以上10社

【開催概要】

世界的な新型コロナウイルス感染症の流行により、2019年秋以降、運営の歩みを止めていた中部支部設備女子会であった。

3年ぶりとなるセミナー事業の準備段階では、女性4名と男性2名で組織される運営委員会の会議を開いた。

この会議は、事業開催の是非・時期・内容や打合せだけでなく、この組織の存在意義や目的そして役割を再確認するものであった。

今回のセミナーでは、コロナ禍が長く続いている中で、仕事を含めた生活が大きく変化し、コミュニケーション不足が原因で様々な弊害が
起こりつつあることを視点とし、まずは建築設備に関わる仲間と緩くつながり、心をやすめるひと時を過ごすことを目的とした。

『三密』の『3つの“密”の熟語』を言おう！とのいきなりの問いかけには、頭を悩ませる参加者が多くいた。

※三密の熟語『密閉』『密集』『密接』

まずは、コミュニケーションは「密」であるというところから、アサーション度チェックリスト（出展：平木典子〈アサーショントレーニング～さわやかな自己表現のために～〉）を
使用し、「自分から働きかける言動」「人に対応する言動」をセルフチェックした。その後、さまざまな場面設定のケース&スタディのシート
を基に、少人数グループでワークショップを行った。コミュニケーションの取り方にはおおまかに4つのタイプ（攻撃的、受動的、作動的、自他尊重的）
があり、自分がどのタイプに近く、自分も相手も傷つかずに伝える方法をグループワークで考えた。

仕事の場面だけでなく、家族や友人との場面も想定しながら、楽しくお互いのちがいを理解し合おうとした。

自分のタイプ、相手のタイプを知った後は、最後にトランプでゲームをしながら、わいわいと楽しく終えた。

管理職への伝え方、部下への接し方など、いろんな話題が出て、それぞれの立場で共有できた。

このセミナーでの学びを職場に持ち帰り、活かしてもらえばと考える。

以上



建 通 新 聞

中 部

2022年(令和4年)10月18日<火曜日> 日刊

『ゆる〜く』つながり 気持ちを『ま〜るく』

設備女子会がセミナー



建築設備技術者協会中部支部設備女子会は14日、「建築設備の『ドーナツトーク』セミナー in 名古屋」を開いた。コミュニケーションの取り方にはタイプ（攻撃的、受け身的、作為的（ネチネチ）、自他尊重的）があるとみて、自らのタイプを自己分析。その上で、アサーション（お互いを尊重した上での率直な自己表現）を意識した会話を通じて、建築設備に関わる参加者が『ゆる〜く』つながり、気持ちを『ま〜るく』する、ひと時を楽しんだ。



in名古屋を名古屋市中区の栄ガスビルで開いた「写真。建築設備に携わる女性技術者ら約20人が参加し、コミュニケーションスキルを学んだ。

冒頭、中部支部の理事で運営委員を務める木村員久大林組設計本部名古屋設備設計部長は「新型コロナウイルス感染症の影響で、コミュニケーション不足の弊害があったと思う。セミナーで他社や遠方の人と接し、新しい発見をしてほしい」とあいさつした。

参加者は、対人コミュニケーションスキルを向上するため、普段の自分の言動を振り返り、伝え方の癖を自覚した上で、互いに仕事や私生活での悩みなどを輪になって話し合い相互の理解を深めた。建築設備士資格の説明や協会活動の紹介も行われた。

コミュニケーション スキル向上へセミナー

建築設備技術者協会
中部設備女子会

建築設備技術者協会中部
支部の設備女子会は14日、
「ドーナツトークセミナー

